

# 「リコー ビンタンの森」 現地業務報告

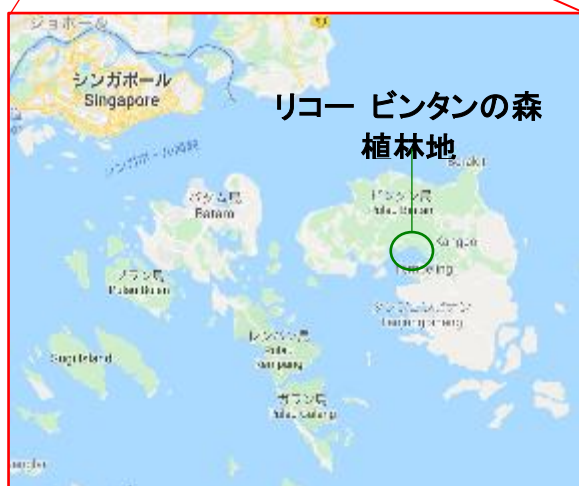
2022年10月（第7回目報告）

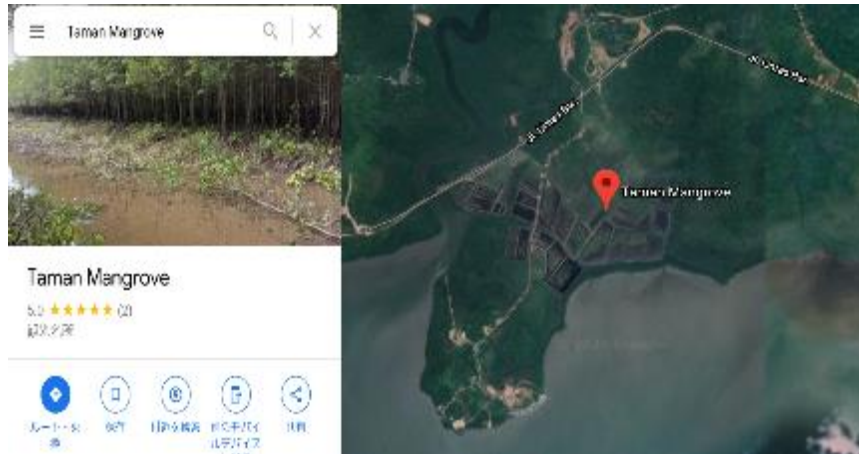
ワイエルフォレスト株式会社

# 1. 植林現場情報

植林現場は、ビンタン島中央部にあるペナガ海峡に面した沿岸域に位置します。

プロジェクト名	「リコー ビンタンの森」
植林現場	リアウ諸島州ビンタン島ペナガ Penaga, Teluk Bintan, Bintan Regency, Riau Islands
GPS 情報	1° 03'27.5"N 104° 25'43.1"E GoogleMap ; ( <a href="https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7">https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7</a> )
面積	約 18 ヘクタール (180,978 m <sup>2</sup> )
土地	養殖池跡地。 YLF が土地を所有する住民と提携し事業実施。 現場管理者：アディさん





上記表中に記載の GoogleMap の URL(<https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7>)から、以下の地図が開きます。

植林現場は、6つに区画分けされた養殖池跡地で合計約 18 ヘクタールあり、各々の池面積は以下の表の通りです。



植林地番号	平方メートル(m <sup>2</sup> )	ヘクタール(ha)
B	20,813	2.0813
C	37,682	3.7682
D	34,783	3.4783
E	13,400	1.3400
F	36,300	3.6300
G	38,000	3.8000
合計	142,978	18,0978

今回の植林の様子を現地メディアが取材に訪れており、ニュース番組にて植林の様子が報道されました。

<https://youtu.be/taHoc-8hot8>

こちらのリンクから確認いただけます。

現在までの「リコー ビンタンの森」植林実績としましては、

- ・ 2020 年度合計：82,252 本（2020 年 3 月植林も含む）
- ・ 2021 年度合計：56,923 本
- ・ 2022 年度合計：30,000 本

累計植林本数は、169,175 本となっております。



## 第 6 回目植林の様子

### 植林地 G

第 5 回目（2022 年 3 月）までの植林活動にて植林地 B、C、D、E、F の植林が完了致しましたので、第 6 回目の植林活動では新たに植林地 G をご用意させて頂きました。

「リコー ビンタンの森」2022 年度植林分の合計 30,000 本のマングローブ植林を植林地 G に行っております。

植林を行った日が日曜日であり、以前紹介させて頂きました「マングローブ愛好家」チームに所属する方々による協力の下行われました。「マングローブ愛好家」チームには男女の隔てなくメンバーが所属しており、植林作業にも多くの女性メンバーが参加しております。



今回の植林でもマングローブ同士の縦横の間隔を取って植林を行っております。



「マングローブ愛好家」チームの方々も植林に参加していただいています。





## 現地視察報告

### 植林地 B

植林地 B は第 1 回目（2020 年 3 月）及び第 2 回目（2020 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。前回の視察時（2022 年 3 月）から 7 カ月程経過しております。前回の視察時には植林を行ったマングローブの樹高が平均的な成人男性の腰の位置まで成長していましたが、今回の視察時には平均的な成人男性の胸の高さあたりまで成長していました。そのなかでも特に成長しているマングローブは成人男性の背丈を超える高さまで成長しているマングローブもありました。また支柱根も多く付けているマングローブが多く視られ、これから更に早い速度で成長すると思われれます。

弊社社員が植林地 B のマングローブをドローンを使用して上空から撮影した映像がございますので、別途資料にてお送りいたします。



植林地 B のマングローブです。



現地で現場の管理をいただいているアディさん（右側に立っている男性）



### 植林地 C

植林地 C は第 2 回目（2020 年 9 月）及び第 3 回目（2021 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。植林地 C のマングローブの樹高も前回の視察時では一般的な成人男性の膝の位置まで成長していましたが、今回の視察時には成人男性の腰の位置まで成長していることを確認することができました。また、写真では確認が難しい部分もございますが支柱根を付けているマングローブも確認することができました。





### 植林地 D

植林地 D は第 3 回目（2021 年 3 月）及び第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。植林地 D では、以前アディさんが下草を手作業にて除去していますが、時間の経過と共に下草が再度成長しつつあります。しかしながら、植林を行ったマングローブは既に大きく成長しており、今後マングローブの成長に下草の影響が出ない程度ですので、成長の邪魔になる下草のみを除去、そのままの状態ですべて管理をしていきます。マングローブが更に大きく成長しますと、下草は十分に太陽光を得ることが出来なくなるため、自然と枯死し無くなっていきます。

また、植林を行ったマングローブが枯死してしまった場合には、枯死したマングローブの場所に新たにマングローブを植林する補植作業も行っております。補植については現地でプロジェクト植林地を管理していただいていますアディさんに行っております。

マングローブの写真が一部見え辛いため、赤線で枠を付けて見えやすくしています。葉を 10 枚～15 枚程付けており順調に成長しています。





### 植林地 E

植林地 E は第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。植林地 E につきましても前回視察時には下草が多く植林を行ったマングローブの種は目視で確認することはできませんでしたが、今回の視察では多数の葉を付け、幹についてもまっすぐと伸びており、樹高は成人男性の膝の高さあたりまで成長しております。







### 植林地 F

植林地 F は第 5 回目（2022 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。植林地 F には植林地 G 同様にインドネシア政府がコロナ禍に対する住民支援の一環として数年前にマングローブ植林を行ったものの手入れや管理はされずに放置されたマングローブがありますがアディさんは「せっかく植えたマングローブを枯らしてしまうのはもったいない」と言い、現在までそれらのマングローブも「リコー ビンタンの森」と一緒に管理していただいている状況です。



植林地 F でも縦横間隔を保ったまま植林を行っています。



視察中に撮影した写真です。実際に植林したマングローブを間近に見ながらアディさんと情報交換を行っています。



黄色の枠線で囲ってあるマングローブが行政支援により植林されたマングローブで、赤色の枠線で囲ってあるマングローブが前回「リコー



前回から 7 カ月程経過しておりますが、葉を 8 ～10 枚程付けており、幹もまっすぐに伸びています。アディさんが日ごろからマングローブに



<p>「ビントンの森」の植林を行ったマングローブです。</p>	<p>引っかけたゴミなどを除去していただいていることで、幹が曲がったり折れたりすることを防いでおり、生存率をあげることができています。</p>
---------------------------------	---

## 植林地 G

植林地 G は第 6 回目（2022 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。植林地 G でもインドネシア政府の新型コロナに対する支援により植林され放置されたマングローブが残存していますがこの残されたマングローブもアディさんの意向により「リコー ビントンの森」として一緒に管理していきます。今回植林を行ったマングローブはまだ成長開始段階にあるため、まだ葉を付けているマングローブも少ない状態です。ここから成長に伴い葉を付け、幹を太くしながら樹高を伸ばしていきます。



赤色の枠線の内側に今回新たに植林したマングローブの種です。その右側にある成長したマングローブが行政支援にて植林されたマングローブです。



マングローブの種 60cm～70cm 程度の大きさはあるものの、幹がまだ細いため地面におちている枯れ木などを見分け付きにくく、写真でもなかなか写らない為、近くに寄ってから撮影することで認識することができます。



こちらのマングローブは既に小さな葉を付けています。成長の早いマングローブは 1 か月程で葉を付ける個体もあります。



植林直後の成長速度には種子の成熟度によって個体差がありますが、数カ月の期間で見ると成長自体にはほとんど差はないと言われています。

以上